

# 蛍流の森 だより

ロックエンゼルの会

代表 長坂 健司

第 112 号

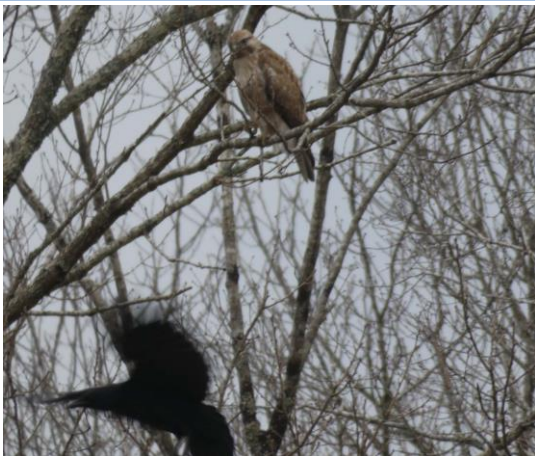
令和 2 年 3 月 1 5 日

## 雪景色のなかった冬、もう春です

今年の冬の蛍流の森は、一度も雪景色が見られませんでした。ちせいの里ができて初めてのことです。馬酔木はもう満開に近い花を咲かせ、ホタルの里では金魚が集団で泳ぎ回り、いつの間にかカエルの卵がいっぱいありました。1日には、冬場休止していた整備保全活動も再開され、遊歩道の間伐、石清水水源の整備作業などが行われました。もう春です。



石清水水源の整備作業



い  
花  
流  
公  
園  
の  
日  
日  
膨  
の



庭先の梅 来



ホタルの里のカエルの卵と泳ぎ回っていた金魚

身近な生き物(四四)  
ノスリとハシボソガラス

春になると、鳥たちもいつもと違う動きをします。茅生から降りていく雑木林に、タカの仲間、ノスリが飛んできました。しばらくするとハシボソガラスも接近。両者見合っていました。そのうちノスリがガラスにちよっかいをかけ、ガラスは離れました。ノスリが再び近づきます。写真は、ノスリを嫌がって飛び出したハシボソガラスです。もつとも、そのあとも見合っていました。